

No. 3

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
(平成16年度第2回)

# 一般国道158号

## えいへいじおおの 永平寺大野道路

平成16年11月

国土交通省 近畿地方整備局

# 目 次

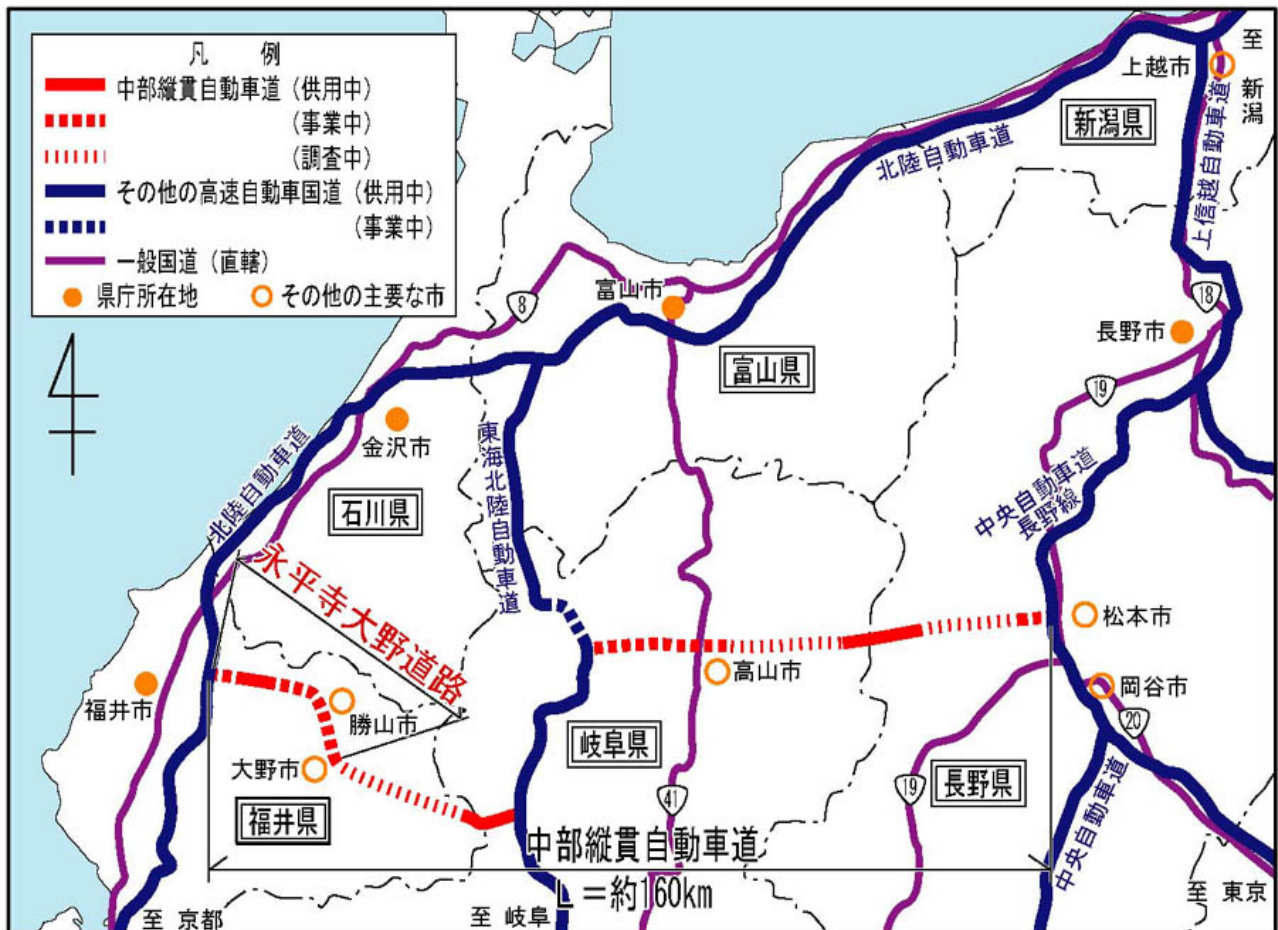
<input type="checkbox"/>	事業の目的	-----	1
<input type="checkbox"/>	計画の概要	-----	2
<input type="checkbox"/>	事業の経緯及び進捗	-----	4
<input type="checkbox"/>	事業を取り巻く社会状況	-----	6
	1. 社会的背景	-----	6
	2. 沿線の交通状況	-----	9
	3. 沿線の主な観光施設	-----	10
	4. 地域における計画	-----	11
<input type="checkbox"/>	事業の整備効果	-----	13
<input type="checkbox"/>	費用便益分析の算定	-----	18
<input type="checkbox"/>	コスト縮減や代替案立案等の可能性	-----	20
<input type="checkbox"/>	対応方針	-----	21

# 事業の目的

- ・ 高速広域ネットワークの形成
- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 災害時における安定した交通路の確保
- ・ 地域の活性化

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通り、福井市に至る約160kmの高規格幹線道路であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的として計画されています。

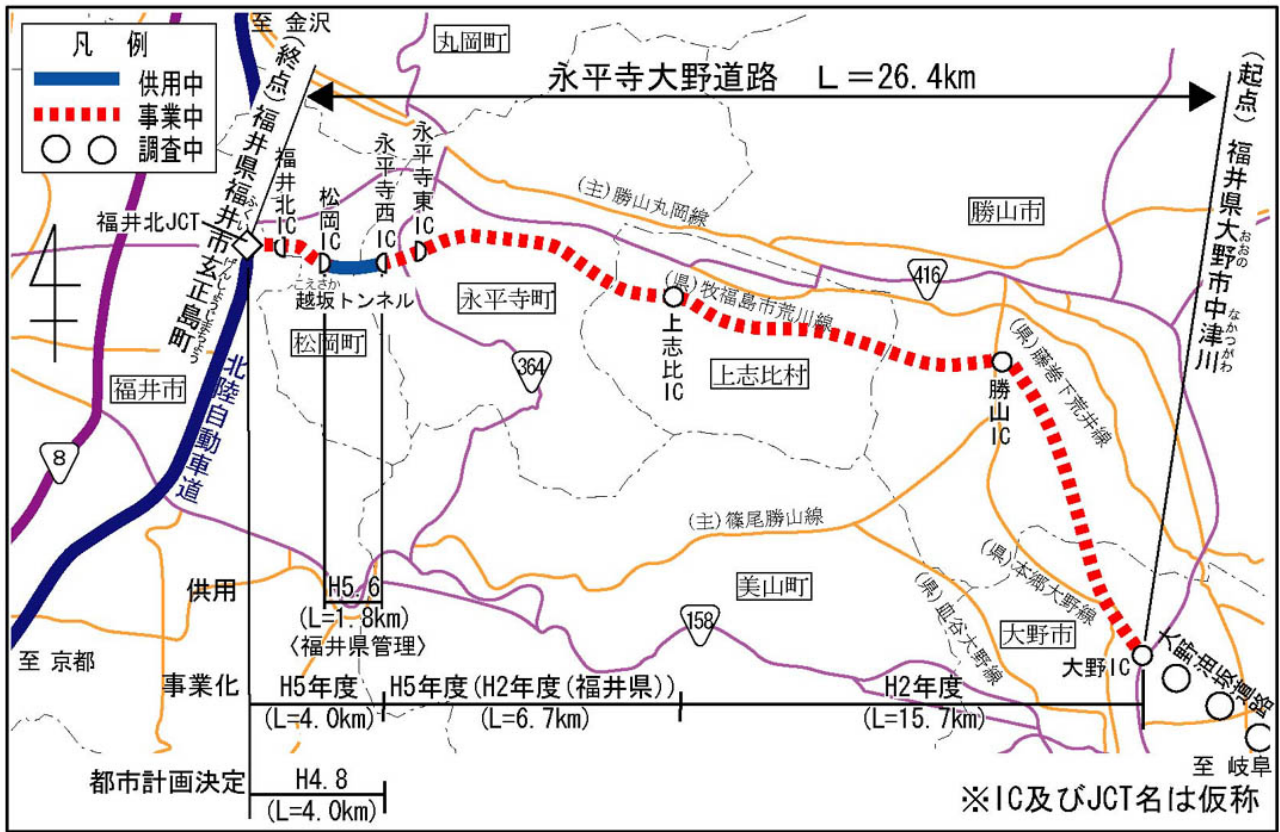
永平寺大野道路は中部縦貫自動車道の一部を構成し、大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路であり、交通渋滞の緩和、緊急医療体制の飛躍的向上、災害時における安定した交通路の確保、文化・地域資源を活かした沿線地域の活性化を図ることを目的としています。



# 計 画 の 概 要

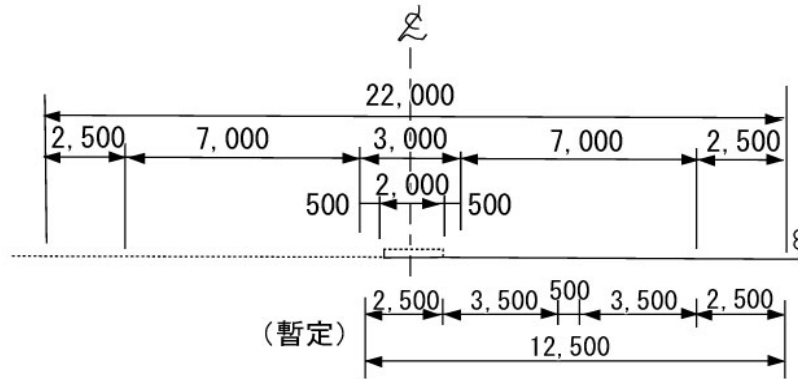
- 起 終 点

 起点) 福井県大野市中津川  
 終点) 福井県福井市玄正島町
- 計画延長
L = 26.4 km
- 幅員
W = 22.0 m
- 構造規格
第一種第三級
- 設計速度
80 km/h
- 車線数
4車線
- 全体事業費
約 1,290 億円
- 計画図

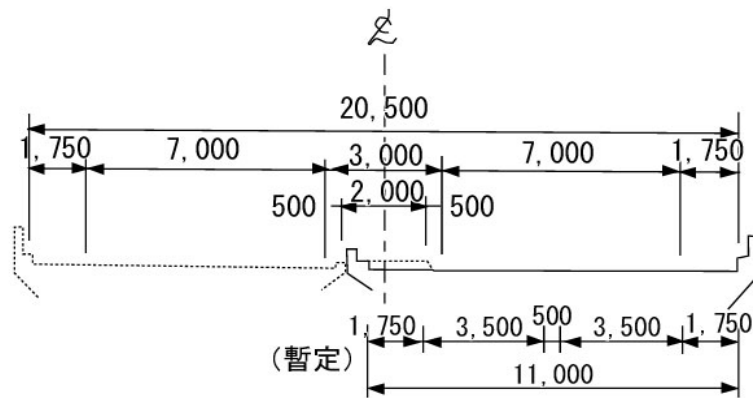


・標準断面図

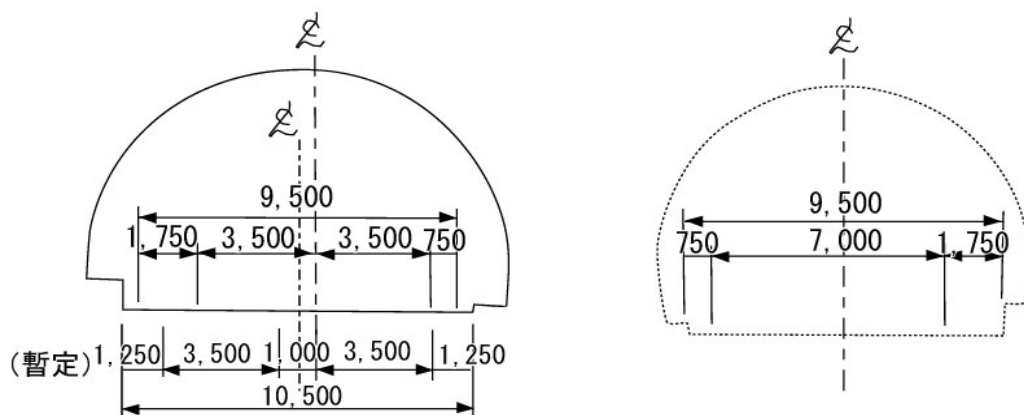
土工部



橋梁部 (長大橋)  
(高架部)



トンネル部



# 事業の経緯及び進捗

## 1. 事業の経緯

- ・昭和60年度 国道416号 吉野～谷口工区（越坂トンネル<sup>こえさか</sup>付近）  
事業着手（福井県）
- ・平成2年度 永平寺西IC～大野IC 「一般国道の自動車専用道路」  
として整備計画決定  
永平寺西IC～上志比IC<sup>かみしひ</sup> 福井県事業着手  
上志比IC<sup>かみしひ</sup>～大野IC 直轄事業着手
- ・平成4年度 用地買収着手  
福井北JCT～永平寺西IC 都市計画決定
- ・平成5年度 福井北JCT～上志比IC<sup>かみしひ</sup> 直轄事業着手  
（県事業区間は直轄に移管）
- ・平成10年度 工事着手

## 2. 事業の進捗（平成15年度末現在）

- ・事業進捗率 29.5%（事業費ベース）
- ・用地取得率 69.8%（面積ベース）
- ・供用延長 L=1.8km 越坂トンネル 暫定2車線供用  
（平成5年6月1日）

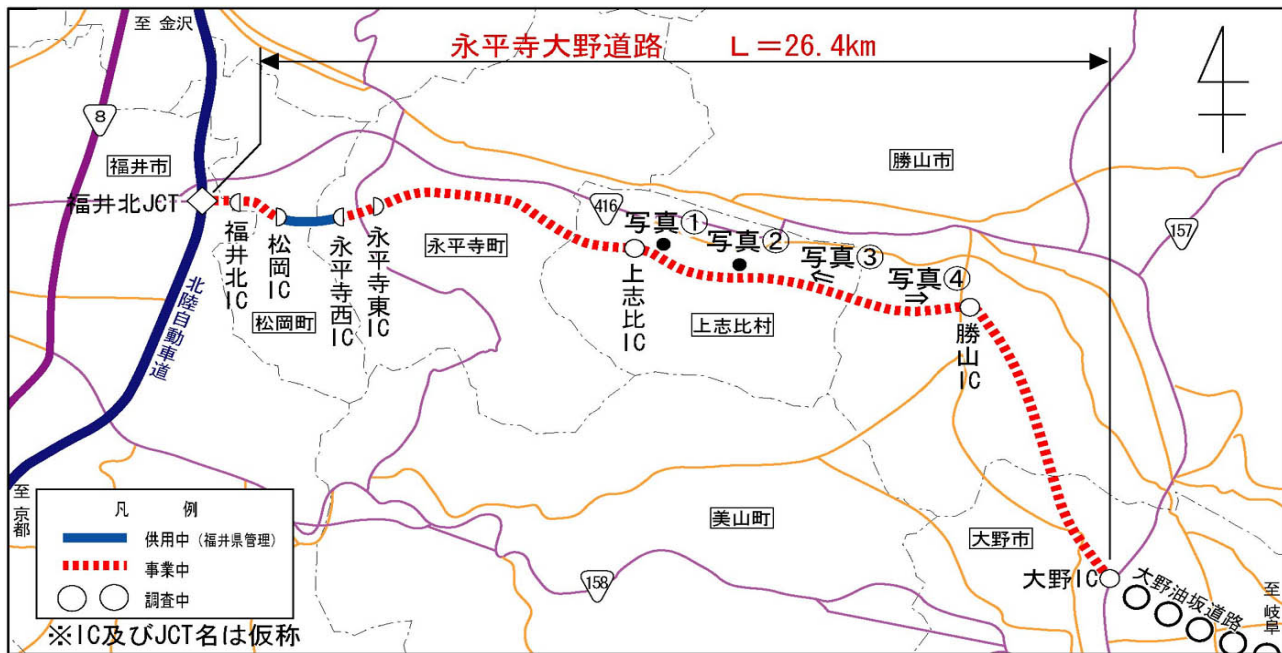
## 3. 関係機関との調整等

計画延長L=26.4kmのほぼ全線にわたり約60箇所の埋蔵文化財が分布しており、また、歴史的に貴重な遺跡も確認されるなど発掘調査に時間を要しています。

そのため、平成7年から福井県、国土交通省で構成する「中部縦貫自動車道関係埋蔵文化財連絡協議会」を開催し、埋蔵文化財の適切な発掘調査・保存を前提に、本道路事業を効率的に進めるための調整を行っています。

また、特に遺跡が集中している上志比村石上地区<sup>かみしひ いしがみ</sup>において、公図混乱による地図訂正などの境界確定の手続きに時間を要しています。

・現在の状況



<埋蔵文化財発掘調査>

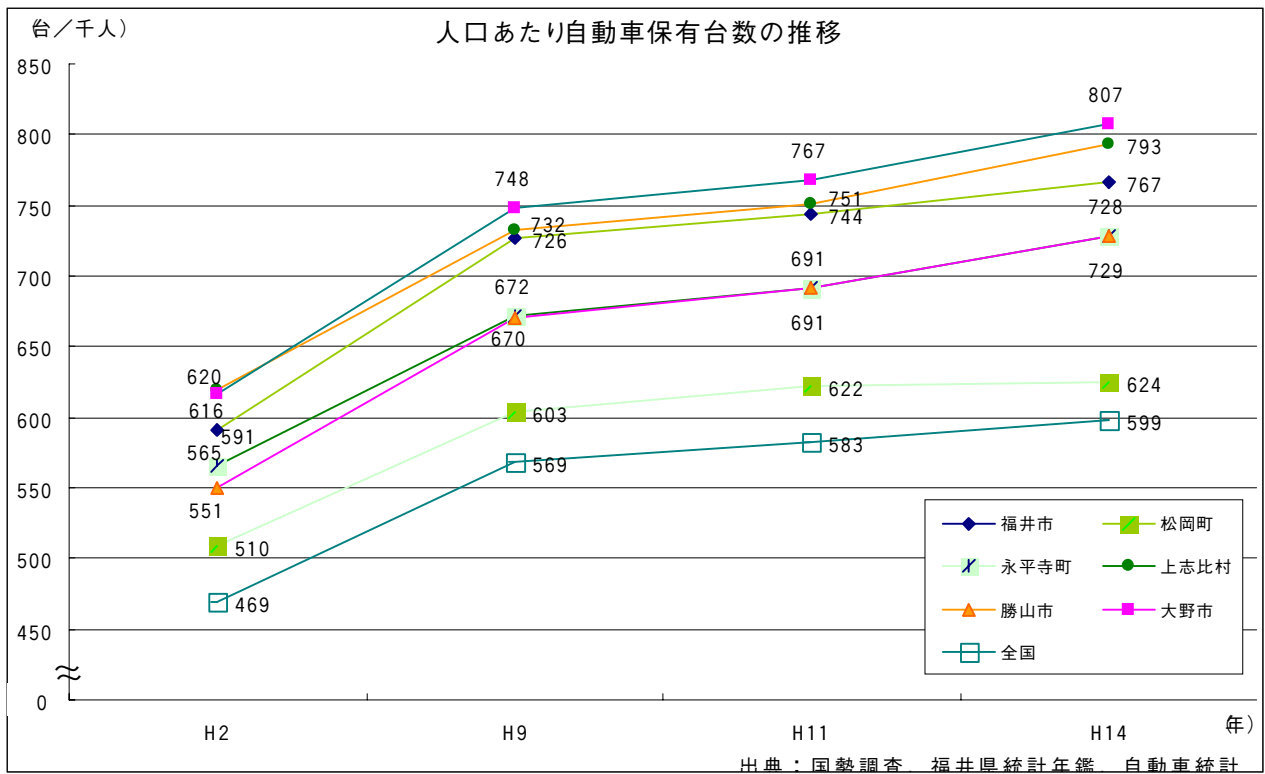
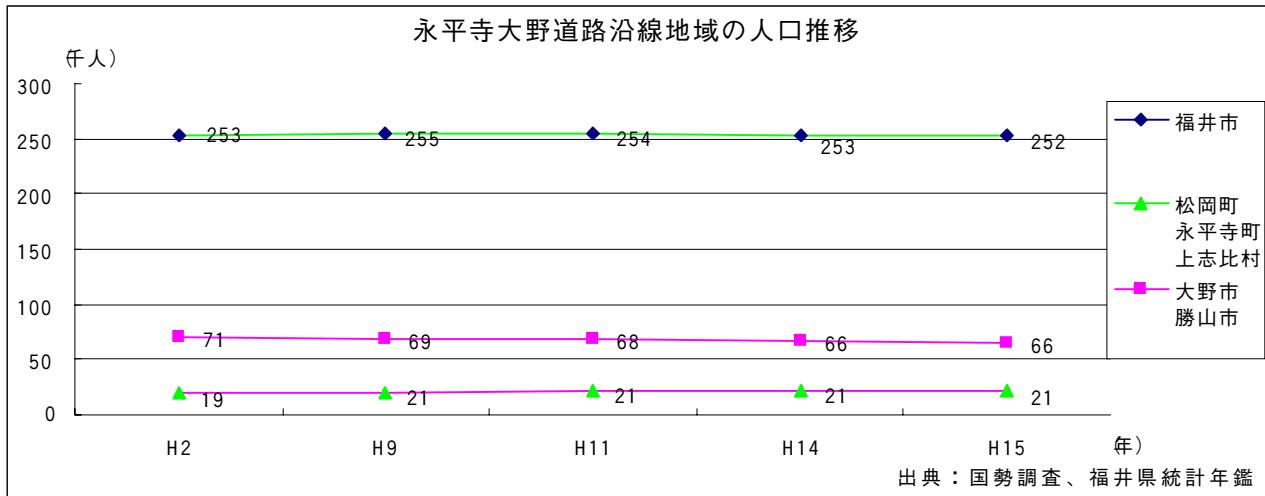


# 事業を取り巻く社会状況

## 1. 社会的背景

### 【沿道6市町村の人口・自動車保有台数の推移】

- 永平寺大野道路の沿線地域（福井市、松岡町、永平寺町、上志比村、勝山市、大野市）の人口は、ほぼ横ばい傾向にあり、沿線地域の活性化が求められています。
- 沿線地域における人口あたりの自動車保有台数は、全ての市町村で全国平均値を上回っており、自動車への依存度が高い地域となっています。

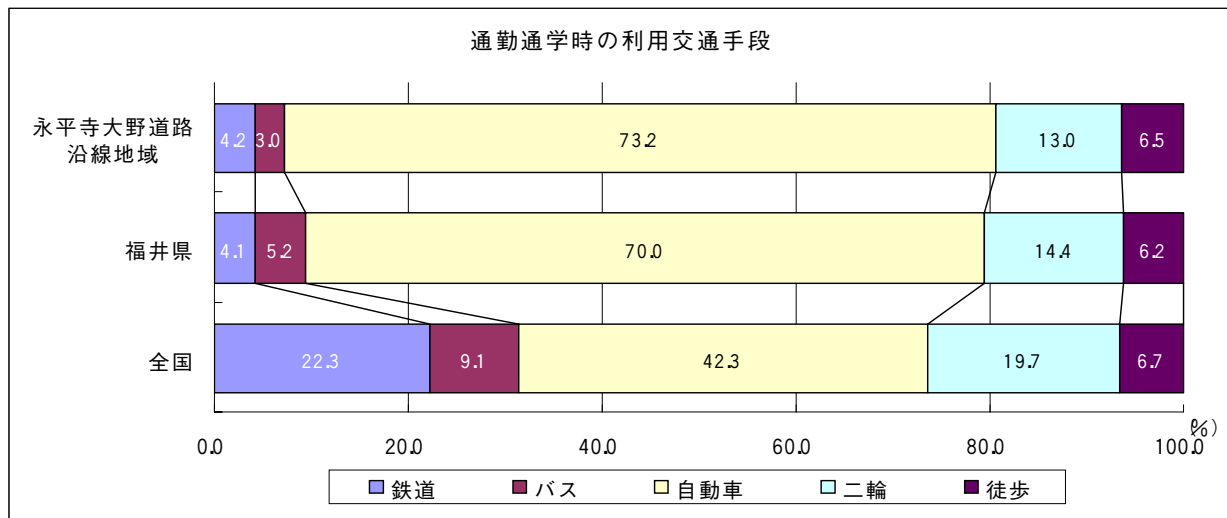
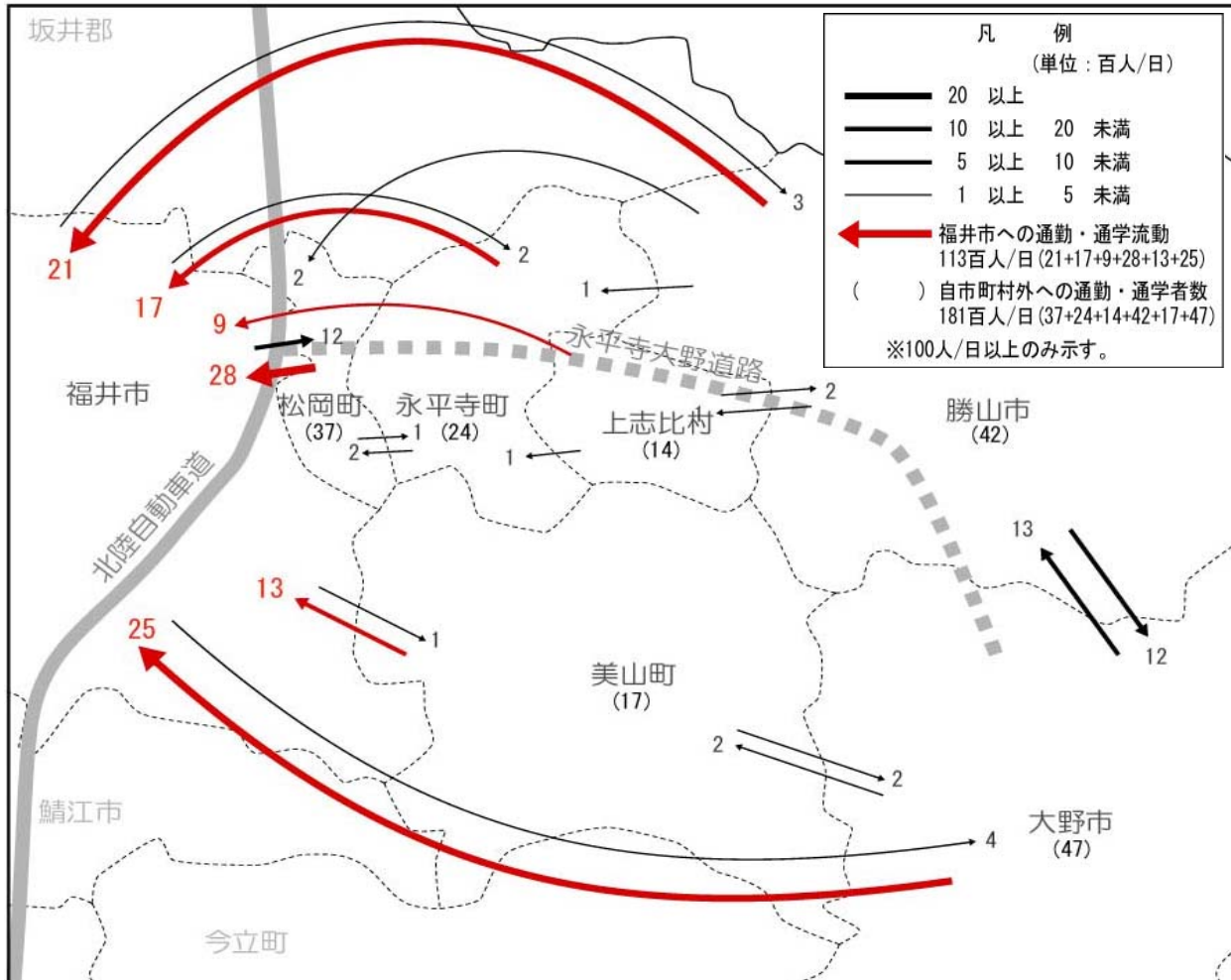


～



## 【沿線地域にかかる通勤通学流動】

- ・勝山市、大野市をはじめとする沿線地域に在住し、自市町村外に通勤、通学している約1.8（万人／日）のうち、約6割の約1.1（万人／日）が福井市に通勤、通学しています。
- ・通勤、通学時の利用交通手段をみると、沿道地域では自動車が高割合を占め、自動車への依存度が高くなっています。

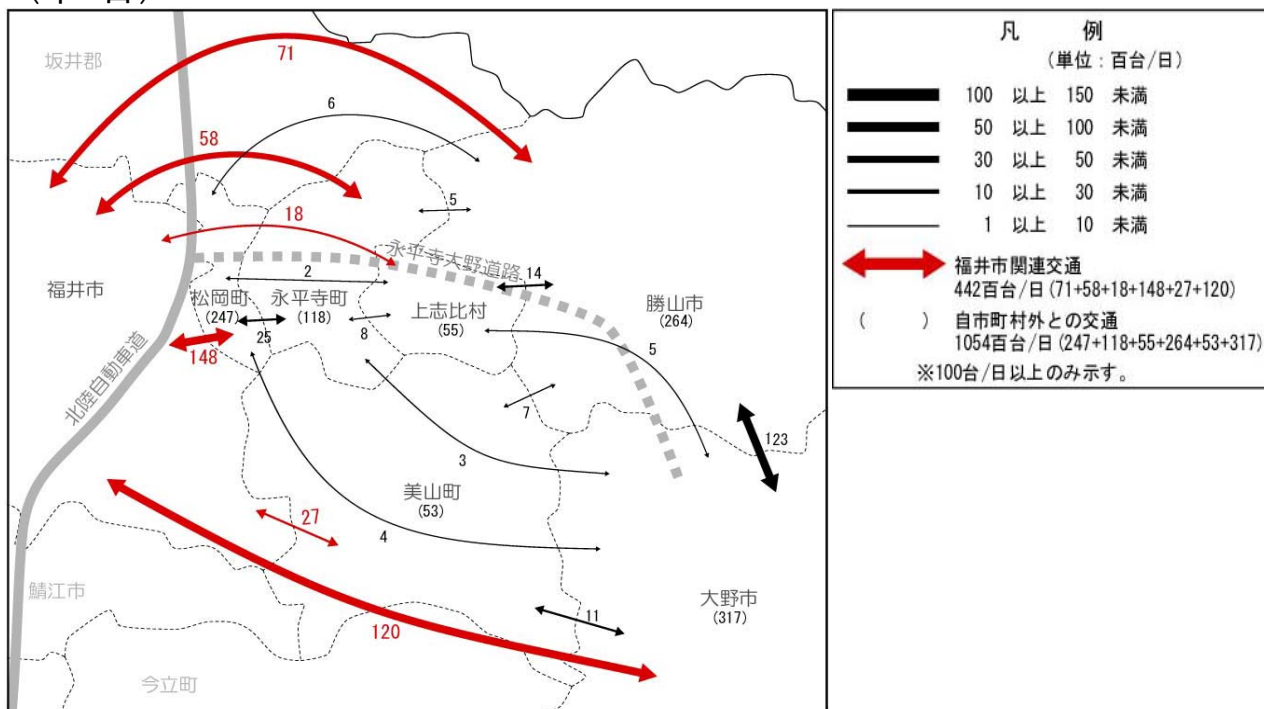


出典：平成12年度国勢調査

## 【沿線地域にかかる地域間自動車交通量】

- 沿線地域の地域間交通量を見ると、勝山市、大野市をはじめとする沿線地域から自市町村外に流動している約10.5（万台／日）の交通のうち約4割の約4.4（万台／日）が福井市との流動となっています。

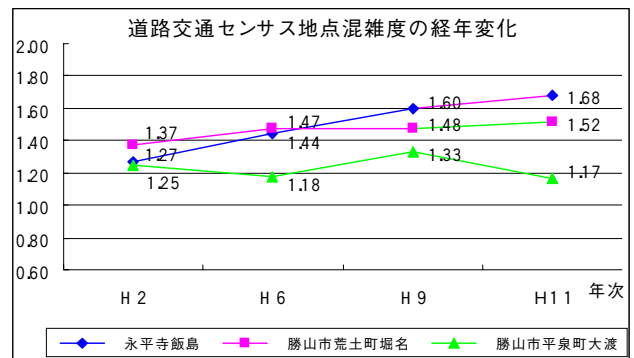
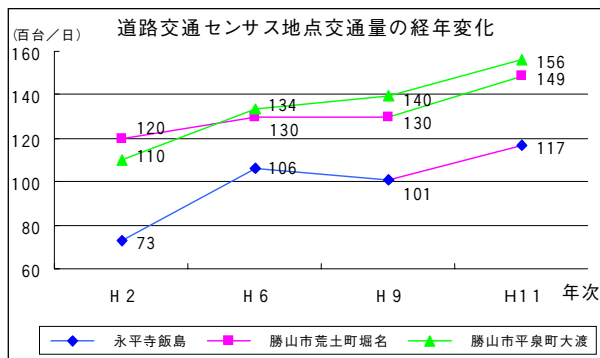
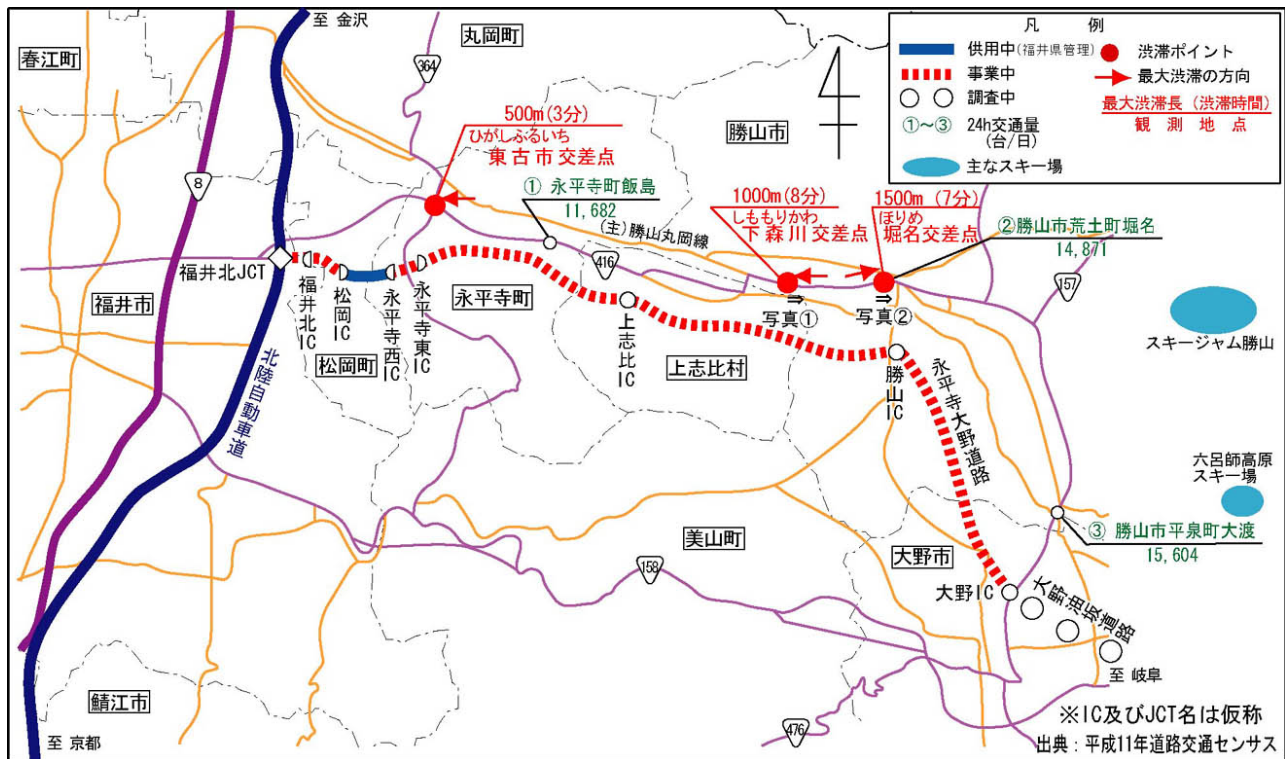
（平日）



出典：平成11年度道路交通センサス

## 2. 沿線の交通状況

- 永平寺大野道路と並行する国道416号では、主要渋滞ポイントが3箇所存在し、交通量の増加に伴い、混雑が悪化しています。



●下森川交差点(平成16年1月撮影)  
「スキー場から帰る車が特定の時間帯に集中」  
・最大渋滞長 1,000m ・渋滞通過時間 8分

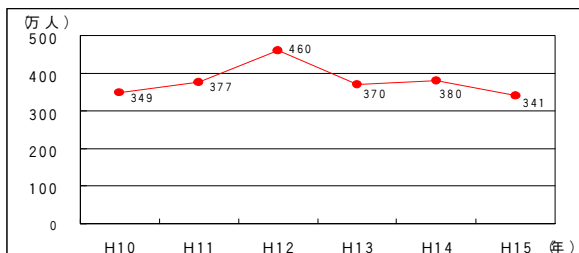


●堀名交差点(平成16年2月撮影)  
「スキー場に行く車が特定の時間帯に集中」  
・最大渋滞長 1,500m ・渋滞通過時間 7分

### 3. 沿線の主な観光資源

- 本道路沿線には、曹洞宗大本山「永平寺」のほか、奥越地域の豊かな自然環境、歴史的、文化的遺産を最大限に生かしたスポーツ・レクリエーション施設、文化保養施設、宿泊施設や公園などの多くの観光資源があります。
- 永平寺大野道路沿線地域全体の観光入込客数は年間約340万人（平成15年度）ありますが、近年減少傾向にあります。

【沿線全体の観光入込客数の推移】



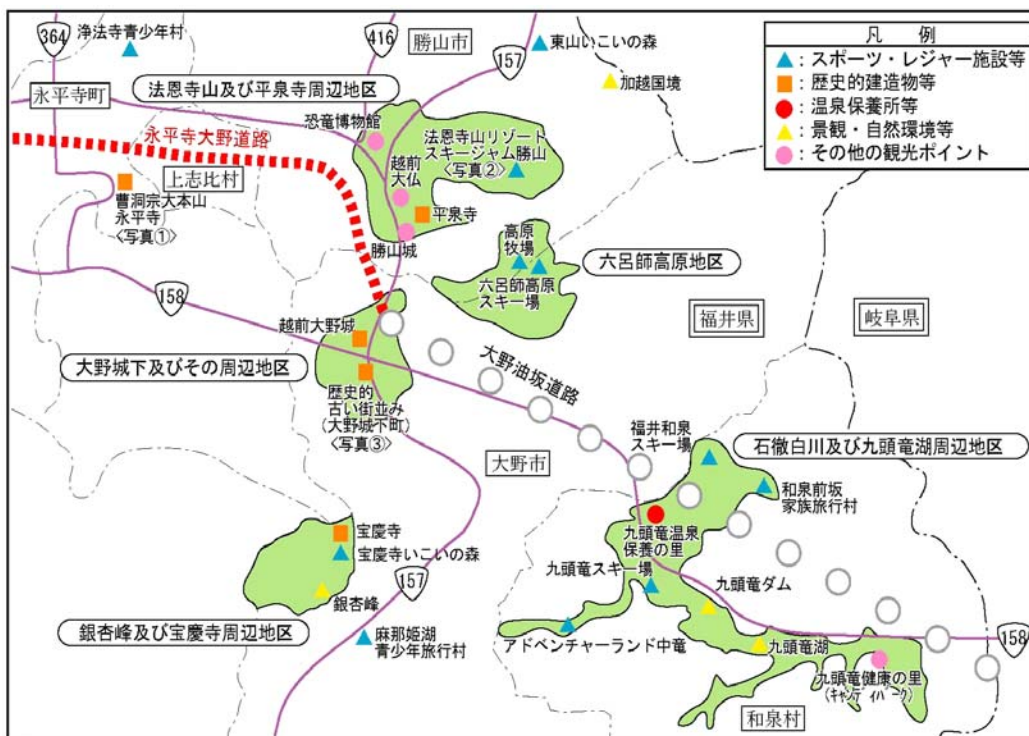
\* 福井県観光振興課調べ

【平成15年度 沿線主要観光施設の入込客数】

地区名	主要施設の入込客数 (万人)	市町名
曹洞宗大本山永平寺	75	永平寺町
法恩寺山及び平泉寺周辺地区	112	勝山市
大野城下及びその周辺地区	47	大野市
六呂師高原地区	21	大野市、勝山市
銀杏峰及び宝慶寺周辺地区	4	大野市
石徹白川及び九頭竜湖周辺地区	68	和泉村
その他	14	永平寺町、上志比村、大野市、勝山市
計	341	

\* 福井県観光振興課調べ（平成15年1月1日～12月31日）

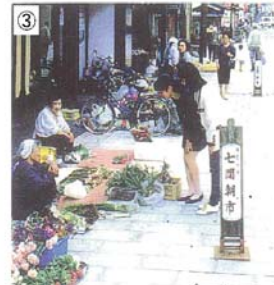
【沿線の主要観光施設】



【曹洞宗大本山永平寺 勅使門】



【法恩寺リゾートスキージャム勝山】



【大野城下町 七間朝市】

#### 4. 地域における計画

永平寺大野道路は、下記の計画に位置付けられています。

- ◆ 第四次全国総合開発計画（昭和62年6月）
- ◆ 福井県「道路将来ビジョン」（平成16年1月）
- ◆ 第五次福井市総合計画（平成14年3月）
- ◆ 第三次松岡町総合振興計画（平成8年3月）
- ◆ 第三次永平寺町総合振興計画（平成7年5月）
- ◆ 第二次上志比村総合振興計画（平成8年3月）
- ◆ 第四次勝山市総合計画（平成14年6月）
- ◆ 第四次大野市総合計画（平成13年3月）

#### 要望経緯

- ・ 昭和59年4月 中部縦貫自動車道路建設促進期成同盟会 設立

期成同盟会名称	会長	主な構成メンバー
中部縦貫自動車道路建設促進期成同盟会	石川県知事	石川県、富山県、福井県、岐阜県、長野県

- ・ 平成元年8月 中部縦貫自動車道路建設促進福井県協議会 設立

期成同盟会名称	会長	主な構成メンバー
中部縦貫自動車道路建設促進福井県協議会	福井県知事	福井県 福井市、大野市、勝山市、松岡町、永平寺町、 上志比村、和泉村

- ・ 平成6年6月 中部縦貫自動車道大野油坂道路建設推進協議会 設立

期成同盟会名称	会長	主な構成メンバー
中部縦貫自動車道大野油坂道路建設推進協議会	大野商工会議所会頭	和泉村商工会、大野商工会議所 大野建設業会、JAテラル越前 大野市観光協会、和泉村観光協会 の各代表者

- ・ 平成10年11月 北陸地方高規格道路網整備促進協議会 設立

期成同盟会名称	会長	主な構成メンバー
北陸地方高規格道路網整備促進協議会	石川県知事 (H10～H11) 新潟県知事 (H12～H13) 富山県知事 (H14～H15) 福井県知事 (H16～H17)	石川県、新潟県 富山県、福井県

- ・ 平成15年6月 中部縦貫・北関東広域道路建設促進同盟会 設立

※中部縦貫道路建設促進期成同盟会と北陸関東広域道路建設促進同盟会が合併

期成同盟会名称	会長	主な構成メンバー
中部縦貫・北関東広域道路建設促進同盟会	石川県知事 (H11～H12) 富山県知事 (H13～H14) 長野県知事 (H15～H16)	岐阜県、福井県、石川県、 富山県、長野県、山梨県

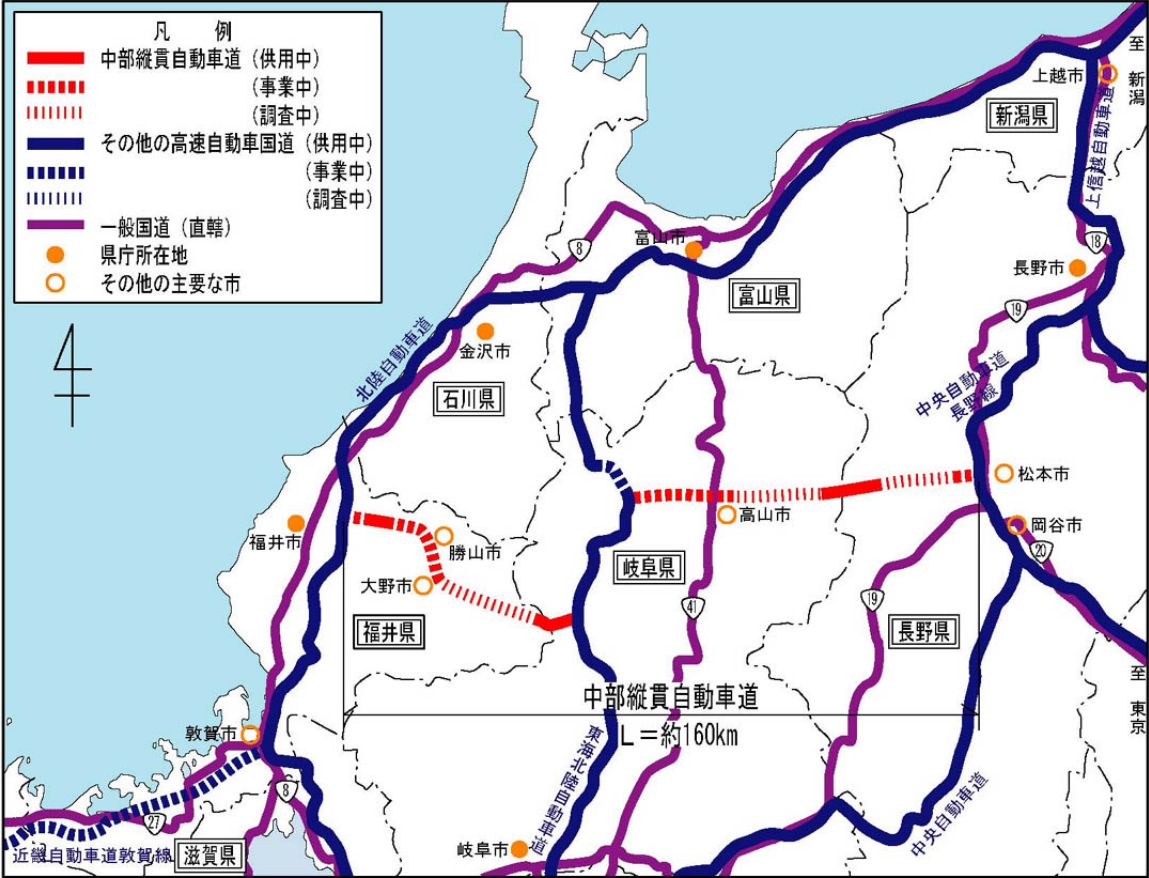
(最近の動向)

- 平成16年2月2日 中部縦貫自動車道大野油坂道路建設推進協議会が、各関係機関に対し、永平寺大野道路、大野油坂道路の整備促進を要望
- 平成16年6月1日 北陸地方高規格道路網整備促進協議会が、各関係機関に対し、永平寺大野道路、大野油坂道路の整備促進を要望
- 平成16年8月26日 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会が、各関係機関に対し、永平寺大野道路、大野油坂道路の整備促進を要望
- 平成16年9月6日 中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会の総会が開催され、永平寺大野道路、大野油坂道路の整備促進を決議
- 平成16年9月27日 中部縦貫自動車道大野油坂道路建設推進協議会が、各関係機関に対し、永平寺大野道路、大野油坂道路の整備促進を要望

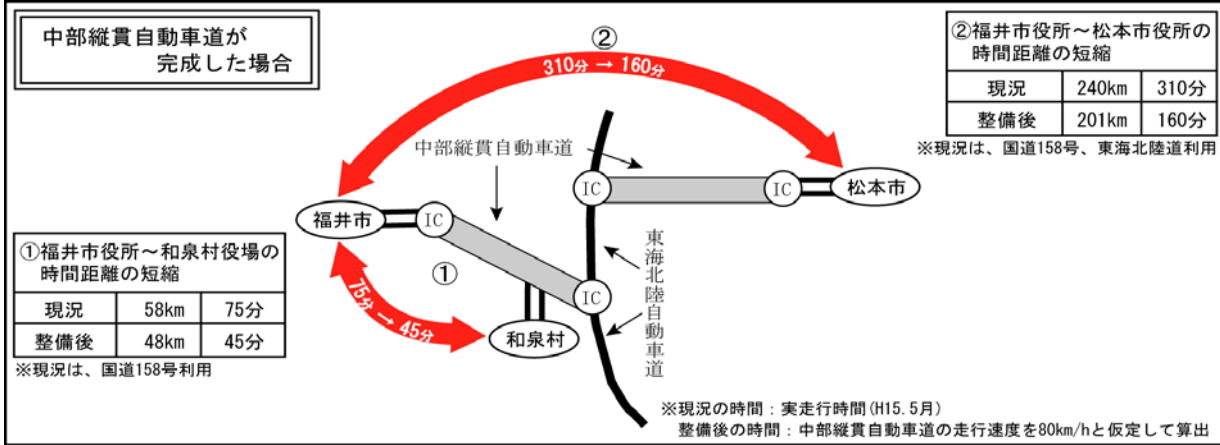
# 事業の整備効果

## ◆ 高速交通ネットワークの形成

中部縦貫自動車道により、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互連絡し、北陸・中部地域の高速交通ネットワークを形成します。



高速ネットワークの形成により、都市間の所要時間の短縮が図られます。

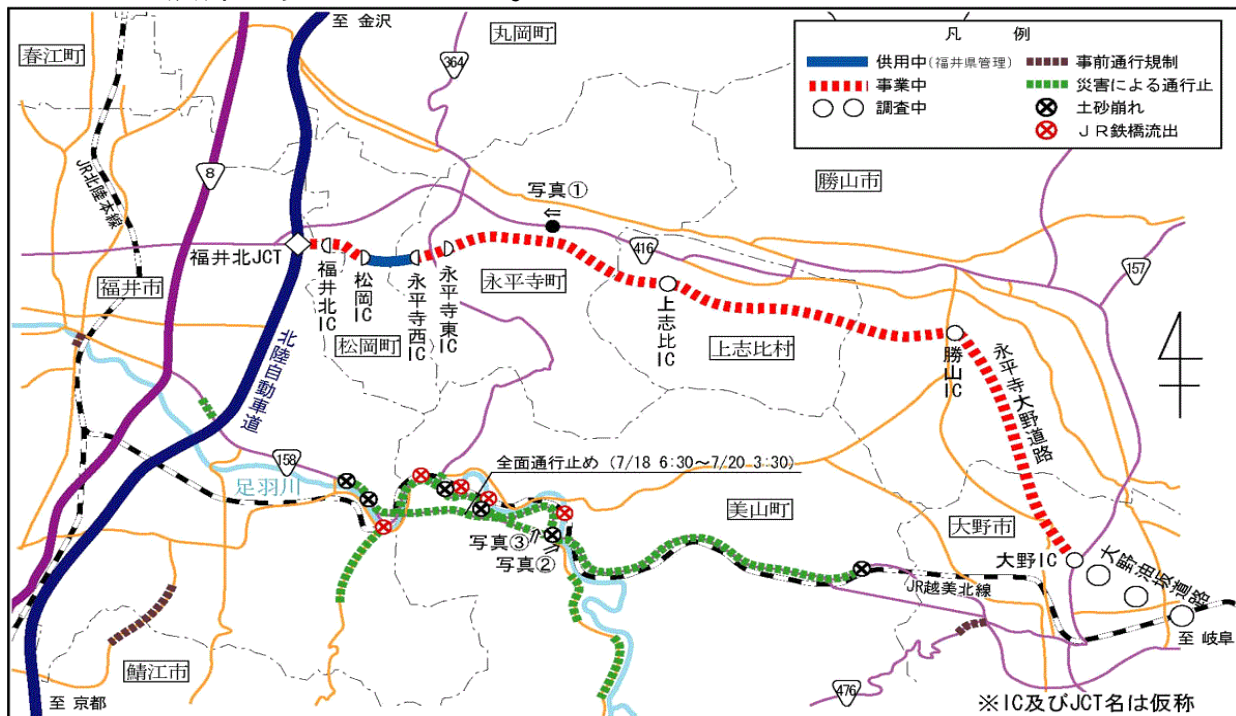


## ◆ 異常気象に強い道路の確保

山間地域である松本、高山、福井等を結んでいる国道158号は雨量による事前通行規制区間もあり気象条件に左右されることが多く、中部縦貫自動車道が整備されることにより、安定した交通を確保することができます。

### 【福井豪雨での被害】

- ・平成16年7月18日未明に発生した集中豪雨で、福井県内の国道、県道のうち福井市、鯖江市、美山町など13市町村の23路線、38区間が冠水や崩土、倒木などの影響で通行止めとなりました。
- ・国道158号においても冠水や土砂崩れ等により約2日間（7/18 AM6:30～7/20 PM3:30）全面通行止めとなりました。
- ・また、JR越美北線（福井～大野）は鉄橋5箇所流失などで運行不能となり約800人に影響が出ましたが、未だ復旧の目途が立っていません。
- ・国道158号の全面通行止め、JR越美北線の運休などにより大野市から福井市への交通が国道416号に集中したことから、国道416号において渋滞が発生しました。



(国道416号渋滞)

(国道158号冠水・崩落)

(国道158号崩落)



●永平寺町花谷付近 (平成16年7月21日撮影)



●美山町上新橋 (平成16年7月18日撮影)

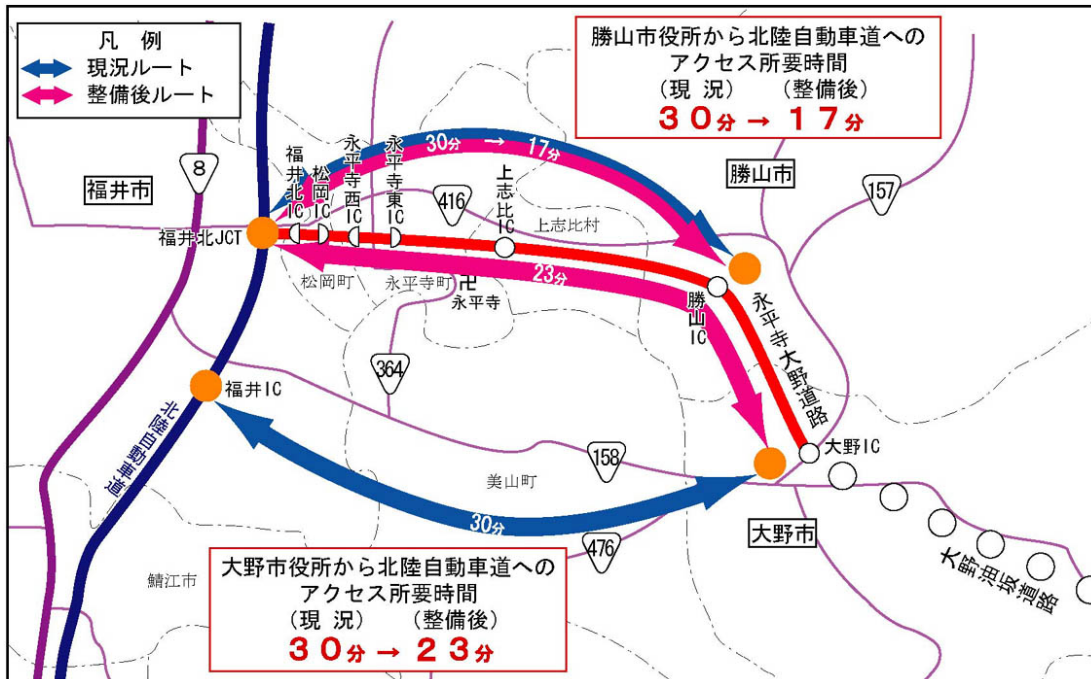


●美山町小和清水付近 (平成16年7月19日撮影)



## ◆ 移動時間の短縮

大野市、勝山市から北陸自動車道へのアクセス時間の短縮が図られ、大野市から7分、勝山市から13分短縮されます。



## ◆ 救急医療の搬送時間の短縮

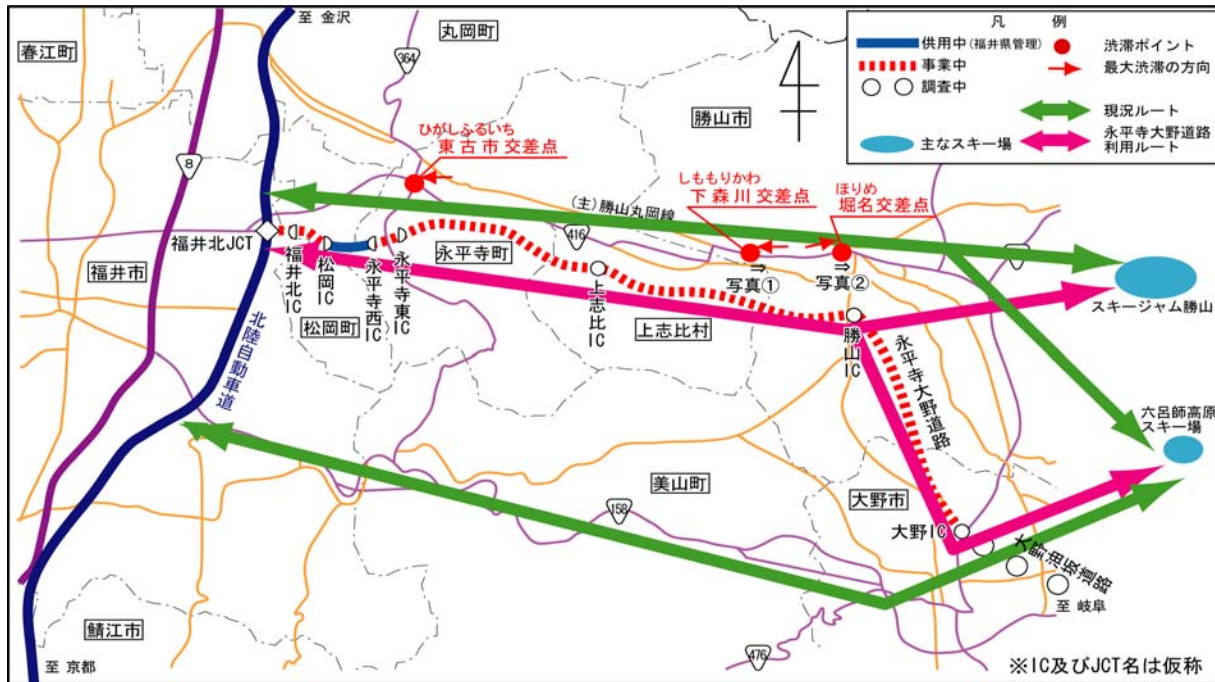
福井市周辺に立地する救急医療施設や総合病院までの搬送時間が短縮されます。

(例：大野市から県内唯一の第三次救急医療施設である県立病院までの所要時間は38分→30分に短縮)



◆ 冬期の渋滞緩和

永平寺大野道路の整備により、スキー場へのアクセス交通の一部が永平寺大野道路に転換し、並行する国道416号の混雑緩和に寄与します。



① ●下森川交差点(平成16年1月撮影)  
「スキー場から帰る車が特定の時間帯に集中」  
・最大渋滞長 1,000m ・渋滞通過時間 8分

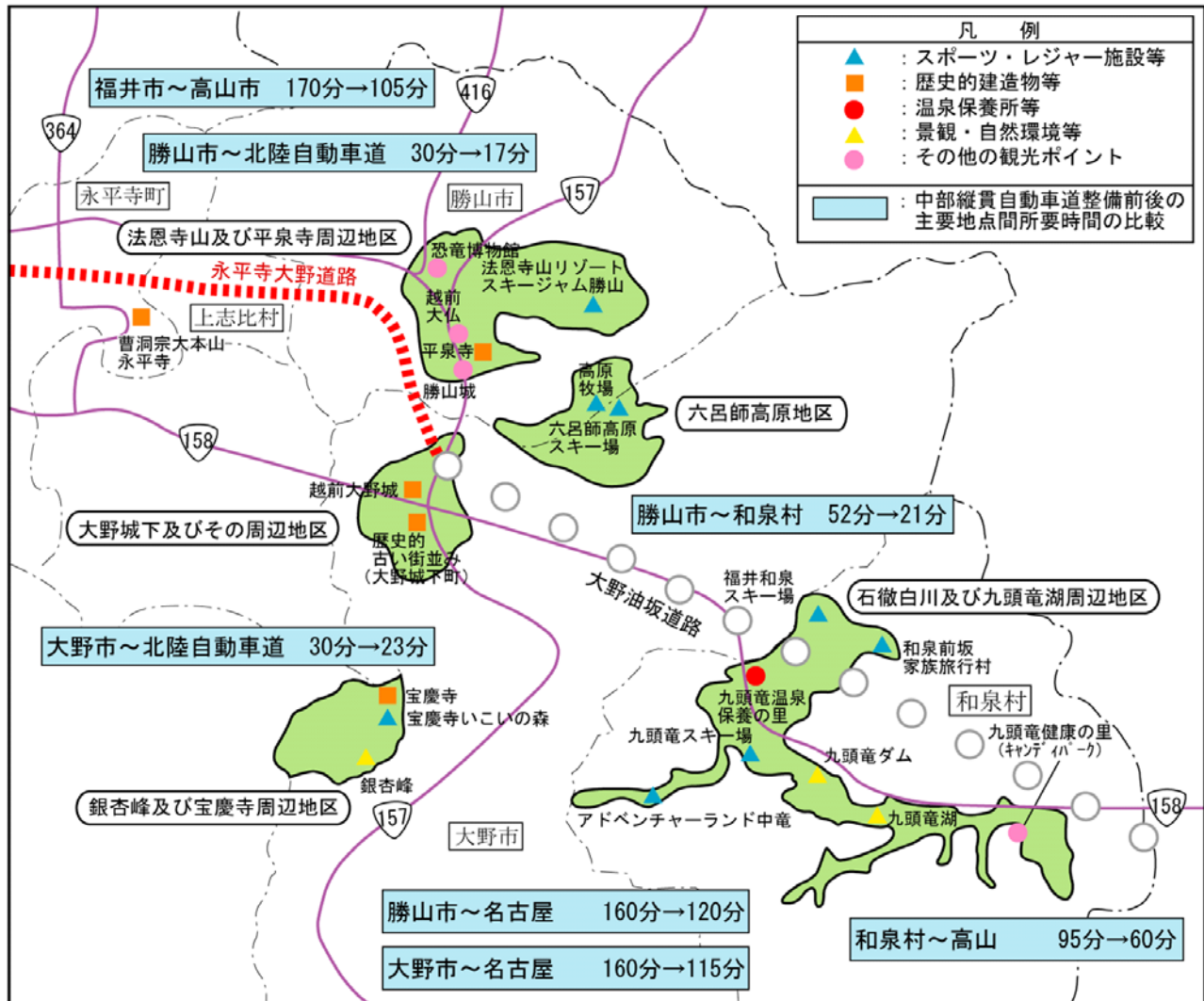


② ●堀名交差点(平成16年2月撮影)  
「スキー場に行く車が特定の時間帯に集中」  
・最大渋滞長 1,500m ・渋滞通過時間 7分

## ◆ 沿線地域における観光の振興

永平寺大野道路の整備により、県都である福井市から奥越地域へのアクセスが向上し、行楽・レジャー客の増加が期待されます。

また中部縦貫自動車道の整備により、奥越地域および沿線の特色ある観光資源が有機的に連携され、調和のとれた魅力ある地域が形成されます。



# 費用便益分析の結果（事業全体）

路 線 名	一般国道158号
事 業 名	永平寺大野道路
延 長	26.4 km

## □便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成16年度			
基準年における 現 在 価 値	3,086億円	363億円	155億円	3,604億円

・・・(B)

## □費用

	事 業 費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成16年度		
単 純 合 計	1,292億円	316億円	1,459億円
基準年における 現 在 価 値	1,205億円	110億円	1,315億円

・・・(C)

## □算定結果

費用便益比（CBR）	
$B/C =$	$\frac{\text{便益の現在価値の合計（B）}}{\text{費用の現在価値の合計（C）}} = \frac{3,604 \text{ 億円}}{1,315 \text{ 億円}}$ $= 2.7$

# コスト縮減や代替案立案等の可能性

本道路の計画にあたっては、地形、周辺の土地利用状況、主要幹線道路等との接続、経済性等を勘案のうえ最適ルート及び道路構造を選定していることから、周辺の環境や景観の保全を図りながら、引き続き現計画に基づき事業を推進します。

なお、施工にあたっては、建設発生土の有効活用や新技術・新工法を積極的に活用するなどコスト縮減に努めます。

具体例としては、事業区域内で発生する伐採木・根株を廃棄処分するのではなく、破碎してチップ材に加工したもので法面吹付を行うことにより雑草発生の抑制効果が期待できることから、資源の有効活用と除草管理の省力化によるコスト縮減が可能となります。

# 対 応 方 針

## (1) 事業の必要性等に関する視点からの見解

中部縦貫自動車道は、将来的に中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡し、北陸と関東を最短距離で結ぶとともに、地域産業の振興、文化交流等、中部内陸沿線地域の一体的な発展に寄与する極めて重要な路線であり、永平寺大野道路はその一翼を担います。

永平寺大野道路を供用することにより、北陸自動車との高速道路ネットワークの形成、交通渋滞の緩和、災害時における安定した交通路の確保、文化・地域資源を活かした沿線地域の活性化などが期待されることから、早期供用が急務となっています。

なお、残事業の費用便益分析を行った結果、B/Cは4.7となっており、事業実施の必要性が高いと考えられることから、今後も早期供用に向けて事業を進めていく予定です。

## (2) 事業の進捗の見込みの視点からの見解

用地については、事業対象面積の約7割で用地買収を完了しています。

埋蔵文化財については、全線に渡って分布しており、調査が必要と推定される面積に対して約5割の発掘調査を完了しています。

工事については、計画延長L=26.4kmの約3割の区間で工事に着手しています。

今後とも用地買収・埋蔵文化財調査を進めるとともに、全線の早期供用に向けて工事を推進していきます。

## (3) コスト縮減や代替案立案等の可能性による視点からの見解

本道路の計画にあたっては、地形、周辺の土地利用状況、主要幹線道路等との接続、経済性等を勘案のうえ最適ルート及び道路構造を選定していることから、周辺の環境や景観の保全を図りながら、引き続き現計画に基づき事業を推進します。

施工にあたっては、建設発生土の有効活用や新技術・新工法を積極的に活用するなどコスト縮減に努めます。

具体例としては、事業区域内で発生する伐採木・根株を廃棄処分するのではなく、破碎してチップ材に加工したもので法面吹付を行うことにより雑草発生の抑制効果が期待できることから、資源の有効活用と除草管理の省力化によるコスト縮減が可能となります。

## ◇対応方針（原案）

### （事業継続）

一般国道158号中部縦貫自動車道は、長野県・岐阜県・福井県を相互に連絡し、広域交通の円滑化に資する重要な道路です。

その一部を形成する永平寺大野道路は、高速広域ネットワークの形成、交通渋滞の緩和、災害時における安定した交通路の確保、沿線地域の活性化などのため、事業促進が求められています。

今後とも、引き続き事業を推進し、早期の完成を目指します。



# チェックリスト

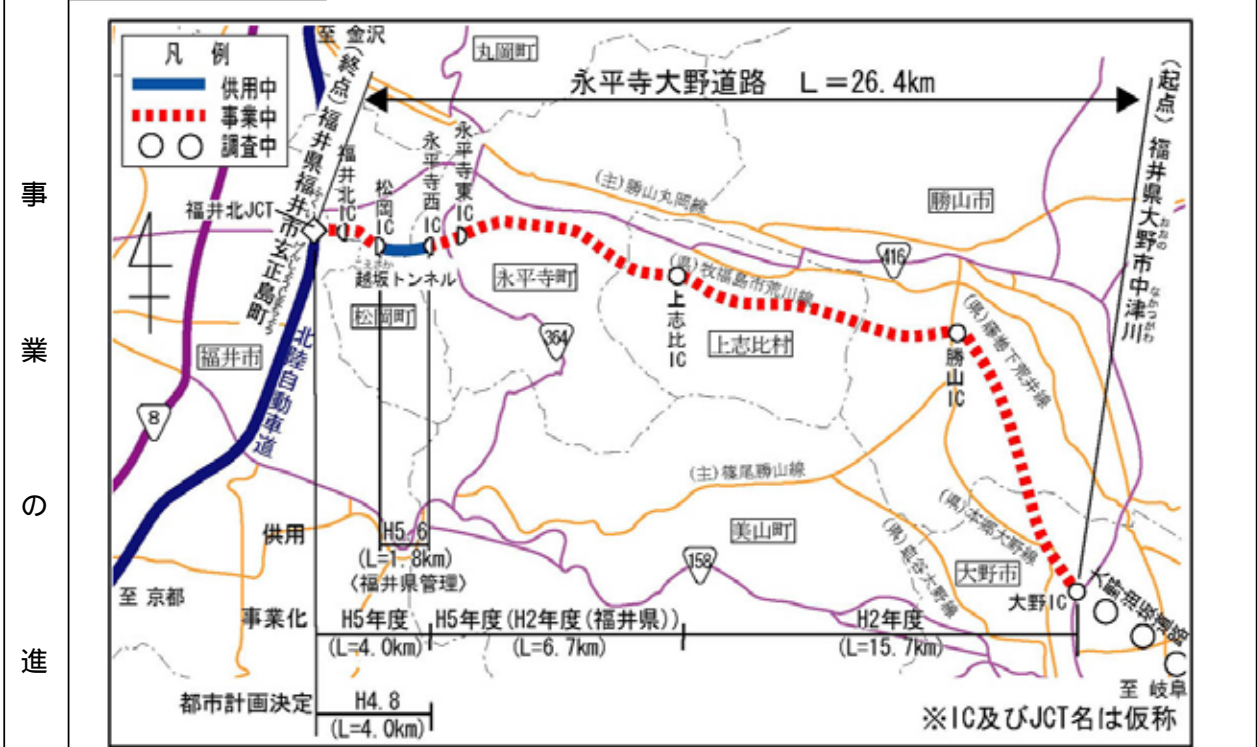
事業再評価に係る資料

事業名		国道158号 永平寺大野道路 <small>えいへいじおおのどうろ</small>		事業種別	高規格幹線道路
事業の概要	起終点	起点) 福井県大野市中津川 <small>おおの なかつがわ</small> 終点) 福井県福井市玄正島町 <small>ふくい げんしょうじまちょう</small>		延長	26.4 km
	事業化	平成2年度	都市計画決定	平成4年8月21日	
	用地着手	平成4年度	工事着手	平成10年度	
	全体事業費	約1,290億円			
事業の目的	<p>中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通り、福井市に至る約160kmの高規格幹線道路であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的として計画されている。</p> <p>永平寺大野道路は中部縦貫自動車道の一部を構成し、大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路であり、交通渋滞の緩和、災害時における安定した交通路の確保、緊急医療の飛躍的向上、文化・地域資源を活かした沿線地域の活性化を図ることを目的としている。</p>				
位置図					

事業名	国道158号 永平寺大野道路 <small>えいへいじおおのどうろ</small>	事業種別	高規格幹線道路
-----	--	------	---------

執行済み額 事業費：約380億円（進捗率29.5%）

事業の進捗状況



事業の進捗状況

- ・事業化：平成2年度（永平寺西IC～大野IC）  
平成5年度（福井北JCT～上志比IC）（県事業区間を直轄に移管）
- ・用地着手：平成4年度
- ・工事着手：平成10年度

【調査・設計・施工】

- ・用地については、事業対象面積の約7割で用地買収を完了している。
- ・埋蔵文化財については、全線に渡って分布しており、調査が必要と推定される面積に対して約5割の発掘調査を完了している。
- ・工事については、計画延長L=26.4kmの約3割の区間で工事に着手している。

供用目標等今後の事業の見通し

今後、完成供用に向けて事業を進めていく予定である。

事業名	国道158号 <small>えいへいじおおのどうろ</small> 永平寺大野道路	事業種別	高規格幹線道路
-----	--	------	---------

事業をめぐる社会情勢等	客観的評価指標		
	1. 活力	円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率
			現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
			現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
			新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
			第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
	物流効率化の支援		重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
			農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
	都市の再生		都市再生プロジェクトを支援する事業である
			三大都市圏の環状道路を形成する
			市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
	国土・地域ネットワークの構築		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
			当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
			日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	個性ある地域の形成		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
			主要な観光地へのアクセス向上が期待される
			新規整備の公共公益施設へ直結する道路である

事業をめぐる社会勢力	2.暮らし	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
			現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
	3.安全	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
			緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
			並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
			並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
	4.環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
			現道等における自動車からのNO2排出削減率	
		生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのSPM排出削減率	
			現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
			その他、環境や景観上の効果が期待される	
	5.その他	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	
	<p>データ上の制約がない限り、基本的に全ての項目について評価を実施するものとする。  ただし、評価に必要な作業量が大きく当該事業による効果は少ないことが予想される場合、評価実施主体が当該事業について評価対象外とすべきと判断した項目については、評価を実施しなくてもよいものとする。  印の指標は定量的な記述により効果の確認を行うことを基本とする。  その他の指標は定性的に効果の有無を確認する。  本指標に基づき効果を総合的に評価する必要がある。その手法については今後策定する。</p>			
	再評価実施時点における評価指標該当項目（定量的評価指標）			
等	1.活カ～円滑なモビリティの確保～ 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 ・国道416号、国道157号並行区間の渋滞損失時間は約387,500人・時間である。 ・当該事業により渋滞損失時間は約292,700人・時間（66.7%）削減される。			
	4.環 境～地球環境の保全～ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 ・国道416号、国道157号のCO2排出量は約35,100tである。 ・当該事業により、CO2の排出量は約11,400t（32.5%）削減される。			
	4.環 境～生活環境の改善・保全～ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ・国道416号、国道157号のNO2排出量は約117t、SPMの排出量は約11tである。 ・当該事業により、NO2の排出量が35.1%、SPMの排出量が約35.0%削減される。			

<p>事業を情勢が等しい</p>	<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p>	
<p>効果分析の要因費用変化効果</p>	<p>現在の費用便益比：B / C = 2 . 7 (事業全体)  = 4 . 7 (残事業)  (基準年次：平成16年、検討年次40年間で算出)</p>	
<p>立案等の縮減可能性代替案</p>	<p>本道路の計画にあたっては、地形、周辺の土地利用状況、主要幹線道路等との接続、経済性等を勘案のうえ最適ルート及び道路構造を選定していることから、周辺の環境や景観の保全を図りながら、引き続き現計画に基づき事業を推進する。  施工にあたっては、建設発生土の有効活用や新技術・新工法を積極的に活用するなどコスト縮減に努める。</p>	
<p>地方公共団体等の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部縦貫自動車道路建設促進福井県協議会(福井県、福井市、大野市、勝山市、松岡町、永平寺町、上志比村、和泉村)・・・中部縦貫自動車道の事業促進を要望</li> <li>・ 中部縦貫自動車道大野油坂道路建設推進協議会(大野商工会議所、和泉村商工会、大野建設業会、JAテラル越前、大野市観光協会、和泉村観光協会の各代表者)・・・中部縦貫自動車道の事業促進を要望</li> <li>・ 北陸地方高規格道路網整備促進協議会(石川県、新潟県、富山県、福井県)・・・中部縦貫自動車道の事業促進を要望</li> <li>・ 中部縦貫・北関東広域道路建設促進同盟会(岐阜県、福井県、石川県、富山県、長野県、山梨県)・・・中部縦貫自動車道の事業促進を要望</li> <li>・ 永平寺大野道路を通過する市町村等 <ul style="list-style-type: none"> <li>福井市・・・永平寺大野道路の事業促進を要望</li> <li>大野市・・・永平寺大野道路の事業促進を要望</li> <li>勝山市・・・永平寺大野道路の事業促進を要望</li> <li>松岡町・・・永平寺大野道路の事業促進を要望</li> <li>永平寺町・・・永平寺大野道路の事業促進を要望</li> <li>上志比村・・・永平寺大野道路の事業促進を要望</li> </ul> </li> </ul>	

対  
応  
方  
針

(原案)事業継続  
(理由)

一般国道158号中部縦貫自動車道は、長野県・岐阜県・福井県を相互に連絡し、広域交通の円滑化に資する重要な道路である。

その一部を形成する永平寺大野道路は、高速広域ネットワークの形成、交通渋滞の緩和、災害時における安定した交通路の確保、沿線地域の活性化などのため、事業促進が求められている。

今後とも、引き続き事業を推進し、早期の完成を目指す。